



日中文化交流セミナー・公開講座



『海を越えた艶ごと』

～ 日中文化交流秘史 ～ (日本比較文学学会学会受賞)

1866年の夏、上海・黄浦江に碇を下ろした外航船から2人の日本淑女(地元英字紙の表現)が埠頭に降り立った。唐先生は、その2人が「おそらく近世以来中国に渡航した最初の日本女性である」と考えられている。

講師 唐 権 先生



プロジェクターを使っでの講義

((唐 権先生のプロフィール))

- 1969年 中国四川省生まれ
- 1998年 日本留学(総合研究大学院大学)
- 2002年~2009年 関西外国語大学・甲南大学など
非常勤講師を歴任
- 2009年 帰国後現在、華東師範大学外語日本語系副教授



長崎丸山遊女



長崎出島唐人街



興味ある講義に聞き入る参加者の皆さん



講義後、会食しながら先生に質問



中国では「調理は中華、住まいは洋館、妻は日本女性」と言われてきた。何故、妻は日本女性なのか。唐先生の研究の原点はここから。



講義の感想を話しながらの会食

江戸鎖国体制の中で、中国の文人や商人が続々と長崎に来た(多い年は2万人ほど)とのこと。彼らが何を目的として海を越えて長崎に来たのか!そこに長崎丸山遊女の存在があった。

著書、海を「越えた艶ごと」がユニークなのは、新しい日中交流史の視点から、歴史の狭間に埋もれがちな艶の世界に光をあてた点です。

皆様も読んでみては如何でしょうか。